

日本で一番、ありがとうのゝわ、が生まれる養鶏場を目指して――。



有限会社竹鶏ファーム

会社案内

COMPANY PROFILE

会社概要



会 社 名	有限会社竹鶏ファーム（法人番号：5370102002489）
社名カナ	ユウゲンガイシャタケトリファーム
代表者名	志村 竜生（シムラ リュウキ）
設 立 日	2000年09月01日（創業 1965 年）
所 在 地	<本社> 〒989-0731 宮城県白石市福岡深谷字児捨川向1-2 <仙台事務所> 〒980-0023 宮城県仙台市青葉区北目町 4 － 7 1F
TEL／FAX	0224-25-2814／0224-25-2865
資本金／決算月	2,000万円／8月
取引銀行	七十七銀行白石支店、仙台銀行白石支店、仙南信用金庫 本店営業部、日本政策金融公庫 仙台支店 商工中金 仙台支店、農林中金 仙台支店
関連会社	一般社団法人みのり（法人番号：8370005009281）
適格請求書発行事業者登録番号	T5370102002489

竹鶏ファームの理念



MISSION

- 企業使命 -

たまごを通じて幸せと健康を届ける会社

VISION

- 事業展望 -

日本で一番、ありがたい“わ、”が
生まれる養鶏場を目指して

VALUE

- 共有価値観 -

地元密着

行動指針 - 竹鶏の心得 -

- その1 取引より取組を
- その2 ココロ丸く、頭柔らかく、志高く
- その3 3つの思いやり（仲間、鶏、お客様）
- その4 リトライ 挑戦する、何度でも。
- その5 誇れる仕事をしよう

たまごを通じて幸せと健康を届ける会社。

お陰さまで竹鶏ファームは、前進の「志村養鶏場」から数えて創業60年を迎えます。幸せは小さな喜びの積み重ねであると感じ、60年続けられていることに感謝と幸せを感じる日々です。

気づけば慌ただしく過ぎる日々のなかでも、食の記憶がおいしい味や体験であるように、体や脳にエネルギーを届ける元気な食生活が健康につながっていくように、暮らしが蔵王連峰の麓、白石市という土地から皆様のもとへお届けできますように。そんな想いを小さなタマゴにたくさん込めて、今日もせっせと養鶏を続けていきます。

代表挨拶

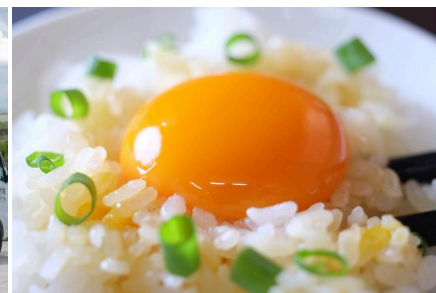
竹鶏ファームも私達の代で4代目となります。創業時より続けてきた「地域に根差し、たまごを通じて幸せと健康をお届けする」という想いを引き継ぎ、より多くの皆さんに発信し、お届けしていきたくと考えております。

家業から企業へ、そして地域になくてもはならない存在になれるよう全社一丸となり私達の企業使命である、日本で一番ありがたい“わ、”が生まれる養鶏場を目指して毎日にわとりとたまごと、そして竹鶏ファームを取り巻くすべての皆様と向き合っています。

「竹鶏たまごに出会えて良かった」「竹鶏ファームに関わって良かった」そう思って頂ける様な血の通った企業、そして小さくても強い輝きを放つ企業をつくっていきます。今後ともご指導ご鞭撻を重ねてお願い申し上げましてご挨拶とさせていただきます。

有限会社竹鶏ファーム 代表取締役

志村 竜生



事業内容 & 表彰

ポトリ事業

- 鶏卵の生産販売
- 鶏肉の生産販売

アグリビジネス事業

- 鶏糞堆肥の製造販売
- 耕畜連携事業（飼料用米の契約生産、仕入）
- 竹ビジネス事業（竹炭の製造、竹チップの製造）

フードビジネス事業

- 加工品の製造販売（菓子製造業、そうざい製造業、液卵製造業）
- 店舗運営事業（直営店の運営、仕入販売）

販売サービス事業

- 配達・宅配サービス（業者向け配達、個人向け宅配「竹鶏うみたて便」）
- ネット通販サービス（公式オンラインショップの展開）
- カスタマーサービス（商品ご購入後のアフターフォロー、情報誌の発行）



特許取得実績

鶏卵鶏用の飲用水及び混合飼料（特許第2866360号／平成10年12月18日）

商標登録

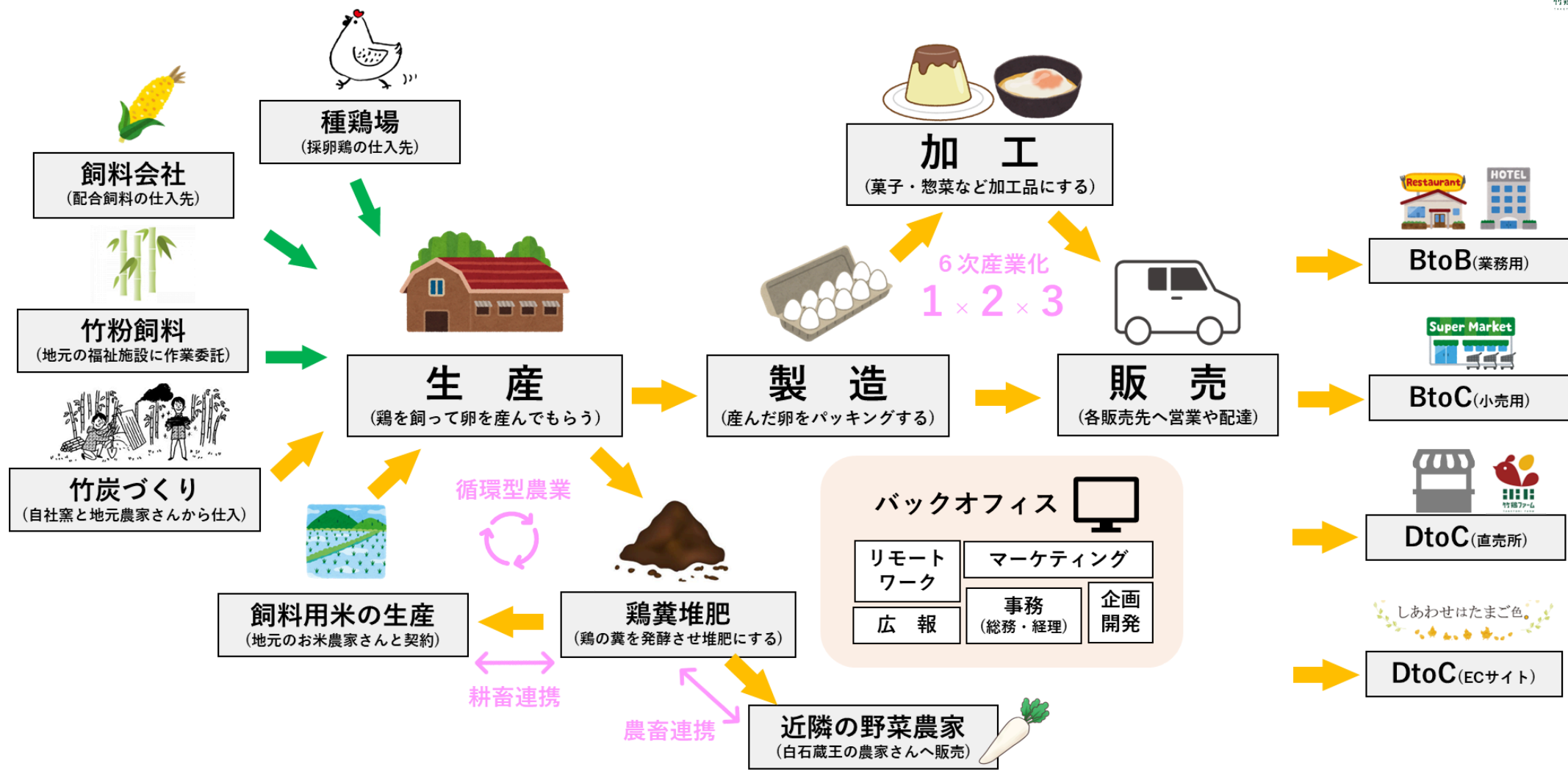
「竹鶏物語」登録番号4059671／平成9年9月19日

各種受賞歴

- 2002年 宮城県農業コンクール／農業賞受賞
- 2003年 第51回全国農業コンクール／優秀賞受賞
- 2017年 第3回 みんなで選ぶ 宮城の食コン／入賞
- 2017年 「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰／大賞
- 2018年 平成30年度全国経営表彰販売革新部門／農林水産省経営局長賞



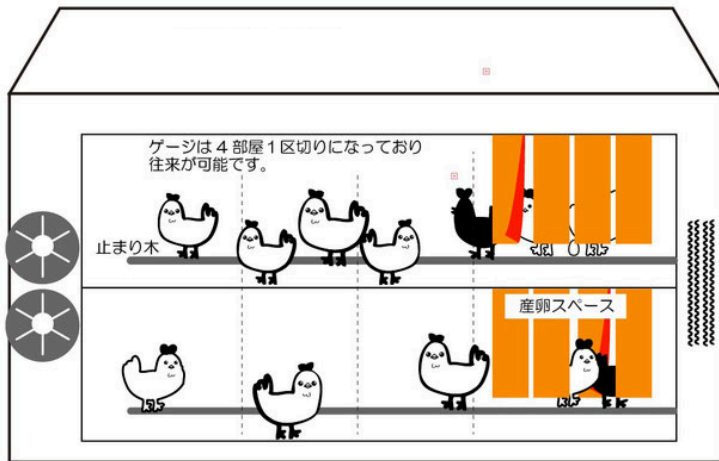
ビジネスモデル



養鶏には卵用鶏（レイヤー）・肉用鶏（ブロイラー）の種類があり、竹鶏ファームは前者の卵を生産する養鶏場です。約4万羽の飼養羽数は業界内では小規模に位置しますが、農場内に選別やパッキングを行うGPセンター、菓子工房や加工場、直売所、自社配達ができる体制を作ることによって生産から販売までを一貫実施しています。

農場から食卓へ鮮度と安全管理をして自分たちで直接お届けする**Farm to Table（農場から食卓へ）**という考え方があります。機械とヒトの目でたまごの品質を確かめながら地域の方々にお届けし、お客様のニーズにできるだけ早く対応できること。また直接お届けできないエリアでも、わたしたちの想いを理解し伝えてくださるお取引先様を通して少しでも広くお届けすること。これらがより安全でお客様の安心感や健康にもつながっていくものと思います。

鶏の健康とアニマルウェルフェア



おいしいたまごは健康なニワトリから。

竹鶏ファームで飼育する約4万羽のニワトリたちも、わたしたちと同じ動物であり「命」があります。商い上、産業動物であることは避けられませんが、できる限りストレスを感じず快適に健康で過ごして欲しい。そんな思いから、30年以上台風や大震災を耐え抜いた旧鶏舎は役目を終わらせ、アニマルウェルフェアと呼ばれる動物福祉の考え方を大切にした鶏舎を採用しています。こだわりの餌・水とともに健康管理にも気を配ることで、元気なニワトリからうまれるおいしい卵をお届けしています。

アニマルウェルフェア鶏舎の採用

導入したドイツ製の鶏舎はいわゆる改良型ケージと呼ばれます。これまでの鶏舎に比べて広いスペースで過ごすことができ止まり木や産卵エリアもあるのでニワトリの行動欲求をより満たすことができます。害虫を食べたり糞を踏んだりすることなく新鮮な風を通したり自動で温度調節されるこの鶏舎では、時にヒトより快適に過ごしています。

養鶏を商いの面で見れば、鶏舎はとても大きな投資です。限られた敷地でもニワトリの健康管理ができ産卵率も安定しやすいことで、生産性、適正価格、安定供給をより保てるメリットもあると考えています。ニワトリの安全とお客様の安心を両立して行ける方法を考え、今できる最善を継続しながら時代とニーズの合う養鶏にこれからも取り組んでいきます。

強制換羽はしていません

ニワトリの成長と共に、卵は徐々に大きく殻は薄く割れやすくなり変化し、産卵率も低下します。これらを改善するため、絶食またはそれに近い状態の時期を作ることによって換羽期を促し、産卵を向上させる「強制換羽」があります。古くからの畜産技術のひとつですが、竹鶏ファームでは行っていません。

抗生物質投与について

抗生物質や合成抗菌剤といった、抗菌性物質は「飼料安全法」の規定により、大すう(ふ化後おおむね10週間を超えた産卵開始前の鶏および成鶏)に対しその使用が禁止されています。抗生物質不投与を広告表示している卵がお買いものコーナーにあるためご不安に思われたお客様からお問合せいただくことがございますが、国内のたまごは残留することのないように定められていますので安心してお召し上がりください。

防疫・鳥インフルエンザ対策

卵の品質等、通常の検査に加えて鶏の個体検査を定期的の実施し、お客様にご安心頂けるよう管理しています。鳥インフルエンザについては昨今発生数も多くなっておりウィルスの要因が大きいとされていることから、鶏舎への立入をごく限られたスタッフのみに制限し消毒に取り組んでいます。



SDGsの取り組み



ありがとうの`わ、がうまれる養鶏場を目指して。

ニワトリとたまごに囲まれながらたくさんの人に支えられて育った僕らが、これからはニワトリやたまごを通じて、家族や地域、竹鶏たまごを愛してくれる皆さんに恩返しをしていきたい。そんな想いで勤しんでいる養鶏業がこれからの持続可能な社会のためにも貢献していけるものと信じ、今後も取り組んでいきたいと思います。たまご、ソーシャルアクション！

TAMAGO SOCIAL ACTION

たまごで
元気な毎日を

2 健康を
支える



TAMAGO SOCIAL ACTION

アニマル
ウェルフェア

3 動物福祉
推進と実現



TAMAGO SOCIAL ACTION

出張授業
ニワトリと命の教室

12 つくも未来
つくる未来



TAMAGO SOCIAL ACTION

竹炭づくりで
竹林保全

13 気候変動に
対応する



TAMAGO SOCIAL ACTION

農福連携で
一緒にものづくり

8 働きがい
と経済成長



まいにち、げんきで、 おいしく。

こども食堂や災害支援等でたまごを提供しています。2019年の催事店では寄付型飲料「みらいセーキ」の販売、コロナ禍では「出前たまごサービス」も行いました。誰かのおなかを満たし、食事の時間が少しでも楽しい記憶になれたら食にかかわる業を行う者として幸いです。

世界的には人口が増え2050年には食糧危機が予測されていますが、地元周辺では高齢化や人口減少で離農者が増えており養鶏業も同様です。養鶏を継続していくことは、身近な人の食を守ることや循環農業にも一役買うことができます。竹鶏ファームの鶏糞は有機肥料として大根農家さんへ提供しています。

トリにもヒトにも 優しく。

竹鶏ファームではアニマルウェルフェア（動物福祉）鶏舎と呼ばれるエンリッチドゲージシステムを採用しています。現在の敷地や環境でコストを守りながらできる選択で、産卵エリアや止まり木などニワトリの習性をできるだけ遮らず、糞や害虫との接触を避けられる点に注目し導入しています。ヨーロッパをはじめとする国々での動物愛護や福祉への関心の高まりにも目を向けながら今できる最大に勤め、ニワトリにもヒトにもできるだけ優しい養鶏を目指します。

こどもたちに食を 通した教育を。

たまごとニワトリを通して、感謝して食べることをお伝えしたり、地元の高校生向けに経営についてお話しさせていただき社長の人気授業も行っています。快適に食べられる食品が様々な人の手を借りて届けられていることは時として忘れてしまいがちですが、竹鶏ファームのエサを見ても飼料米を提供してくれる地域のお米農家や、おからを提供してくれる企業の存在がなければ成り立ちません。土地のものの大切さ、農業の存在を自分事に感じて頂けることで、より食べ物を身近に感じる時間を共有したいと思います。

原点は、竹炭

竹鶏たまごのおいしさは、1994年に竹炭を活用したことからはじまりました。地元の竹林に炭窯を作り、切り出した竹で炭作りをしてエサへの添加や水の浄化に活用しています。炭窯の設置や竹林のお手入れには地域の方の手を借り、2016年にはクラウドファンディングを利用して新しい炭窯で1回で約50kgの炭を作れるようになりました。

竹は季節によっては1日1メートルも伸びるほど成長が早く繁殖力も強い植物です。山仕事は人力が必要で効率化がなかなか難しい面もありますが、竹林の手入れで土砂災害や獣害対策につなげ炭窯を継続させることで竹林保全に一役を、地域の手仕事づくりに貢献します。

地元で、共生社会

地域の特別支援学校から職場実習の受け入れを行い、実践の機会を提供しています。また、季節によって福祉施設のみなさんが竹林の保全作業に加わってくださっています。

お声をかけていただいたことがきっかけで始まった連携ですが、山仕事得意な方、工場内業務が得意な方に特性を活かしていただき、わたしたちも気持ちよく働いてもらえるように環境を整えることで働きやすさにも目を向けながら、地域を盛り上げるひとつになればと考えます。

竹鶏たまごの特徴

竹鶏たまごの秘密。それは愛情と「竹炭」

竹鶏たまごは、竹炭のさまざまな特性に着目し、ニワトリの飼料に竹炭をまぜて作った卵です。



竹鶏たまごはくさみがなく濃厚な味わいです。

おいしさを見る化する「香り戦略研究所」によれば、竹鶏たまごは「コクの値が高く」「濃厚な旨味の余韻が特徴的」「長く続く卵本来の旨味を味わえる」という結果が出ています。「この卵だったら食べられる」そんなお声や、白身のきめがお菓子作りに適していると、お菓子製造のお店様からお褒めいただくこともあります。



竹鶏たまごの原点、それは「竹炭」

もともとは鶏糞の悪臭対策として着目し始めた「竹炭づくり」が竹鶏ファームの物語の始まりでした。どうせやるなら自分たちの手で竹を切るところからやろうと、竹鶏ファームから車で走ること20分ほどの竹林を借り、炭窯づくりからはじめました。竹は、原爆が投下され焼け野原になった地でも、しっかり大地に根を張り残ったと言われるほど強くたくましい植物です。



餌に、水に、空気に。

餌 竹炭を独自の割合で配合。臭みのない卵に
水 竹炭を利用し水を浄化。鶏の健康のもとに
空気 竹炭も自社炭窯ですべて製造



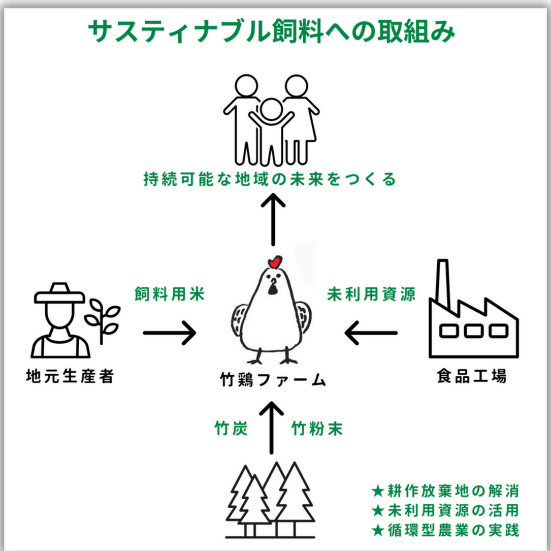
サスティナブル飼料

たまごの味や色には食べ物がダイレクトに影響します

竹鶏ファームでは、飼料会社と連携しながら地域素材を取り入れたオリジナルブレンドを与えています。地元の農家さんから仕入れる飼料用米、食品工場で出るおからや天ぷらかす、竹林から切り出し炭窯で作った竹炭。これらをバランスよく活用しニワトリの健康を守り、うまれてくるたまごが「竹鶏たまご」として私たちの健康を守るために役立ってくれます。

輸入中心の配合飼料だけではなく、持続可能な国産飼料へ

飼料用米の契約農家さんへは、鶏糞堆肥を圃場へ蒔いていただくことで循環型農業も実践しています。また、地域の食品工場さんからの未利用資源を活用し国産飼料比率を高め、持続可能な養鶏を目指し取り組んでいます。



商品案内



竹鶏たまごの他、たまご関連商品を多数ラインナップしております。

付加価値のある竹鶏たまご、スイーツや醤油など業務用・小売用ともに全国発送を行っています。
東北フェアやご当地企画、販促キャンペーン等々、様々な実績がございますのでご相談ください。



業務用お取引について

当養鶏場では、様々な企業様、個人事業主様からの新規お取引に関するお問い合わせを歓迎いたします。
お取引を希望の方は、まずはお気軽にお問合せください。これまで培ったノウハウを結集し対応させていただきます。

お取引の流れ



1 お問い合わせ CONTACT

電話、またはお問い合わせフォームよりお問い合わせください。



2 打ち合わせ MEETING

お問い合わせ内容に沿って、直接打ち合わせさせていただきます。



3 お見積り&ご契約 CONTRACT

お見積り、ご契約内容を確認の上、ご契約いただきます。



4 お取引開始 DELIVERY

竹鶏ファームの充実した配送サービスでお客様のニーズに合わせた納品をいたします。

こんな業者様におすすめ

- こだわりたいのに、ノンブランドや大手メーカーの商品しか手に入らない。
- 他店では使っていない食材で差別化を図りたい。
- 産地直送・特産品やお取り寄せグルメとして扱う商材を探している。
- 通常扱っている商品より高価格でも、付加価値をつけて販売したい。
- 気軽にサンプルを試してみたい。

業務用お取引の特徴

①養鶏場直送なので安心

竹鶏ファームは生産された商品を産地直送でお届けします。

②納品形態・サイズ設定など、きめ細かに対応

需要動向・販売計画・利用方法に合わせて、サイズ、入数などのご希望のオーダーにきめ細やかに対応します。

③簡易包装からオリジナル包装まで

ご希望に合わせた最適な包装をご提案しています。シールや包装材などのオリジナル包装のご要望にもお応えしています。

④ご注文に合わせてスピーディ配送

ご注文に応じて新鮮な状態のままタイムリーかつスピーディに配送します。県内の一部エリアで自社便も対応しております。

Q&A -よくある質問-

Q 個人の飲食店ですが、少量の注文でも取引は可能ですか？

竹鶏ファームは、県内を中心に個人経営の飲食店様とお取引の実績がございます。
ご要望に沿った商品を提供しますのでお気軽にご相談ください。

Q 養鶏場の見学は可能ですか？

鳥インフルエンザ対策により、鶏舎内の見学は出来ませんが、パッキングセンターや加工場など、ファーム見学は積極的に受け入れております。こだわりや現場を知っていただくことで、より理解を深めていただきたいと考えています。スタッフ教育や実地研修としてお気軽にご相談ください。

Q 産地証明書や各種許可証の提出は可能ですか？

竹鶏ファームは、法人化し20年以上の実績がございます。安心して長くお取引をしていただく為、各種書類の提出など迅速に対応いたしますのでお気軽にご相談ください。

Q にわとりやたまごの専門家として、相談することは可能ですか？

竹鶏ファームは商品の売買だけではなく、養鶏業界全体の発展につながる内容であれば惜しまず知識やノウハウを提供してまいります。提案やアドバイスなどをご要望のお客様は、お気軽にご相談ください。